

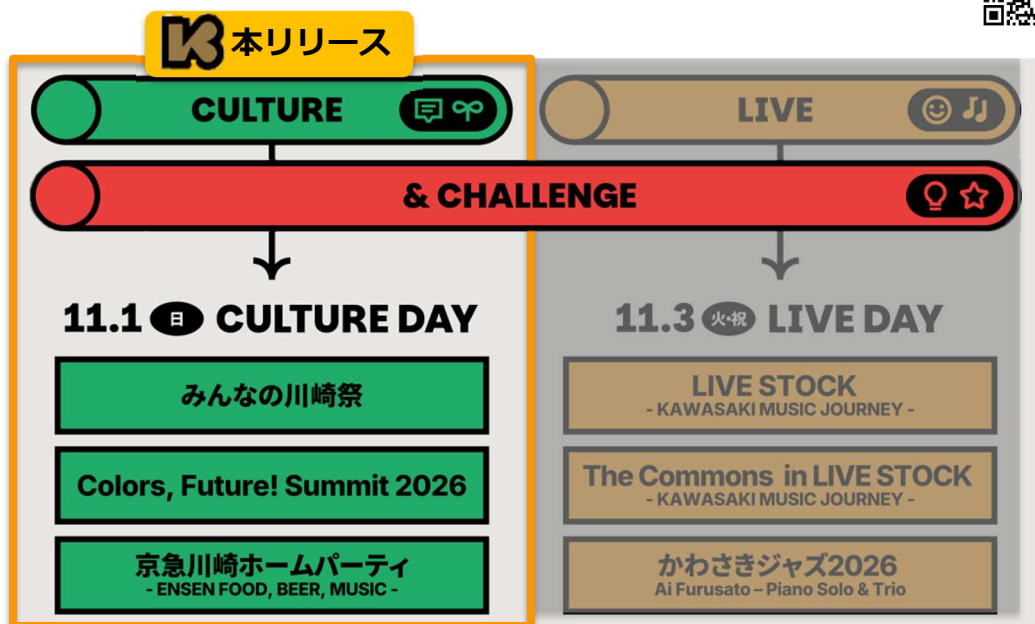
「KAWASAKI FESTIVAL 2026」 開催直前！新たな見どころを紹介します

11月1日(日) 及び3日(火・祝) に初開催する川崎駅周辺エリアを会場とした都市型フェス「KAWASAKI FESTIVAL 2026 Supported by RENOSY(カワサキ フェスティバル 2026 サポートッドバイ リノシー)」(以下「KAWASAKI FESTIVAL 2026」)について、コンセプトである「Challenger's Fes」を象徴する「& CHALLENGE」カテゴリとして、まちなかに挑戦の舞台が現れる「& CHALLENGE STAGE」の紹介や、「みんなの川崎祭」の新たな見どころなど**11月1日(日)「CULTURE DAY」**における追加情報について御紹介します。



※11月1日(日)「CULTURE DAY」の詳細については下記URLを御参照ください。
<https://www.city.kawasaki.jp/templates/prs/170/0000190667.html>

11月3日(火・祝)「LIVE DAY」の詳細については下記URLを御参照ください。
<https://www.city.kawasaki.jp/templates/prs/170/0000190837.html>



■「はじまりの交差点」を象徴する新たな見どころ

今年の「みんなの川崎祭」のコンセプトは「はじまりの交差点」。京急川崎駅前から市役所通りまでの約650mが一本につながる、過去最大規模の会場を舞台に、市民と市民、文化と文化、世代やジャンルが交わることで、新たな出会いや挑戦が生まれるコンテンツを展開します。

「みんなの川崎祭」

【日 時】 2026年11月1日(日)11時～16時

【開催場所】 市役所通り/京急川崎駅前/川崎駅東口ロータリー/川崎市役所本庁舎/市役所広場/稲毛公園/かわさきフェス広場（川崎ルフロン前）※連携会場

【エリアマップ】



K's PICK UP!

●「みんかわウェルカムパレード&オープニングイベント」

「KAWASAKI FESTIVAL 2026」と「みんなの川崎祭」の開幕を街全体に知らせるオープニングプログラムです。川崎市消防音楽隊をはじめ、市内の学生や地元団体、ステージ出演者など総勢300名超が参加する、音楽の魅力を届けるパレードが京急川崎駅前から市役所広場までを行進します。演奏や歌声が響き渡る中、来場者を祭りの中心へと誘いながら、駅前から市役所広場へ熱気をつなぎます。市役所広場でのオープニングイベントでは、12月25日（金）公開の映画『SUKIYAKI 上を向いて歩こう』とのコラボレーションによる坂本九の楽曲「上を向いて歩こう」や、川崎市で結成されたバンドSHISHAMOの「明日も」を演奏し、会場が一体となって華やかな幕開けを彩ります。なお、ウェルカムパレードは沿道の指定エリアから御覧いただけます。

【出 演】 川崎市消防音楽隊・カラーガード隊、川崎市立橋中学校、大西学園高等学校、洗足学園音楽大学、ガールスカウト川崎市連絡会、出展者/出演者ほか

【日 時】 2026年11月1日(日)パレード10時～10時30分、オープニングイベント10時30分～11時

【ルート】 川崎DICE横(スタート)～市役所広場(ゴール)



川崎市消防音楽隊

SUKIYAKI
上を向いて歩こう

●市役所通りがキャンバスに！「100mアート with AKIPEN」

グラフィティアーティストAKIPEN監修のもと、市役所通りの道路100mを巨大なキャンバスに見立て、色とりどりのテープで春・夏・秋・冬を描く参加型アート企画です。来場者一人ひとりが桜や海、紅葉、雪景色などのモチーフを自由に貼り重ねながら作品づくりに参加し、時間とともに100mの巨大アートが完成していきます。完成後は参加者みんなで記念撮影を行った後、作品を剥がして道路を元通りに戻す「剥がし大会」を開催。たくさん剥がした方には景品も用意し、制作から片付けまでをみんなで楽しむ参加型アートです。

【日時】 2026年11月1日(日) 制作 11時～15時、剥がし大会 15時～16時

【場所】 「みんなの川崎祭」市役所通り砂子東エリア（市役所広場前）

アート監修：AKIPEN プロフィール

日本大学芸術学部デザイン学科卒業 グラフィックデザイナーとして活動するも「壁に落描きしてそう」と言われ続ける経験から、グラフィティアートを題材にしたYouTubeチャンネルにて誰でもできるストリートアートの楽しみ方を発信中。



AKIPEN

●川崎×渋谷、ストリートの街のキッズが交わるアーバンスポーツ都市横断バトル

「CROSS BATTLE SESSION」

今年初の試みとして、アーバンスポーツステージでは、川崎と渋谷の2つのまちによるアーバンスポーツ都市横断バトル企画「CROSS BATTLE SESSION」を実施します。ともにストリートカルチャーが息づき、アーバンスポーツの盛り上げに力を入れる川崎と渋谷。それぞれの街で日々スキルを磨くキッズたちが同じステージで向かい合い、ブレイキン、ダブルダッチ、HIPHOPの3ジャンルで白熱のエキシビションバトルを繰り広げます。バトルのあとは、両チームに加え、KADOKAWA DREAMS、KING OF SWAG、RECKなど川崎を拠点に活躍するチームが一堂に会する合同フィナーレで、ステージを締めくくります。このほかアーバンスポーツステージでは、RECK×洗足学園音楽大学 瀬尾ゼミ「フロントールズ」による、生演奏とアーバンスポーツのスペシャルコラボでのオープニングをはじめ、市内のダンススクールやチームによるショーケースを終日展開します。

「CROSS BATTLE SESSION」

【出演】

- ・川崎チーム：XII After Ours Collective Lab（ブレイキン）／JUMPS KAWASAKI（ダブルダッチ）／STUDIO S.W.A.G.（HIPHOP）
- ・渋谷チーム：渋谷未来デザイン「NEXT GENERATIONS」

【日時】 2026年11月1日(日)15時20分～15時30分

【場所】 「みんなの川崎祭」市役所通り砂子東エリア アーバンスポーツステージ

アーバンスポーツステージ ショーケース

【出演】

RECK×洗足学園音楽大学 瀬尾ゼミ「フロントールズ」／ETCダンススクール川崎校／STUDIO SPACE N／STUDIO JEL'AIME／KING OF SWAG／STUDIO S.W.A.G.／KFD（KADOKAWA DREAMS YOUTH TEAM）／KADOKAWA DREAMS／RAYVEL

【日時】 2026年11月1日(日)11時30分～15時55分

【場所】 「みんなの川崎祭」市役所通り砂子東エリア



RECK



洗足学園音楽大学 瀬尾ゼミ



KING OF SWAG



KADOKAWA DREAMS

●サーキュラーエコノミーの実践～みんなでつくる循環型イベント～

「KAWASAKI FESTIVAL 2026」では、資源を循環させながら持続可能なまちづくりを進めるサーキュラーエコノミーの考え方のもと、環境負荷の低減に取り組みます。イベント運営スタッフが着用するTシャツには、株式会社ピエクレックスが主導する循環スキーム「P-FACTS（ピーファクト）」に対応した製品を採用しています。着用後は回収・堆肥化され、次の植物の栽培に活用されるなど、資源を循環させる仕組みをイベント運営に取り入れています。

また、「みんなの川崎祭」では、その考え方を具体化する取組として、今年も可能な限りごみを出さない「ゼロ・ウェイスト」に挑戦します。飲食エリアでは、食べられる容器やリユース容器、微生物により生分解されるカネカ生分解性バイオポリマー Green Planet®を使用したカップを導入するとともに、食べ残しを含む食品残渣は、生ごみ処理機SINKPIAで生分解し、液化したものを再び資源として活用します。さらに、人工芝由来のマイクロプラスチック問題の解決を目指して、ミズノとカネカが共同開発した海洋生分解性人工芝「Re Green Grass UMI」を、子どもたちが木と親しむプログラム「やさちい木の広場」で活用するほか、不要になった衣類を次の使い手へつなぐ古着の譲渡会を実施します。来場者にはごみの持ち帰りを呼びかける紙袋を配布するなど、会場全体で資源循環と環境負荷の低減に取り組みます。



運営スタッフ着用Tシャツ



食べられる容器



生ごみ処理機SINKPIA

& CHALLENGE



■まちなかに挑戦の舞台が現れる「& CHALLENGE STAGE」

JR川崎駅東口のタクシーロータリーに11月1日(日)限りで登場する「RENOSY PARK」(リノシーパーク)をはじめ、銀座街・銀柳街に「& CHALLENGE STAGE」を展開します。



「RENOSY PARK」(リノシーパーク)

本フェスティバルのコンセプト「Challenger's Fes」を象徴する取り組みとして、JR川崎駅東口のタクシーロータリーが、この日限りの挑戦の舞台「RENOSY PARK」(リノシーパーク)に変わります。スケートボードとまちを仕切ることなく自然と溶け込ませる「SKATE URBANISM」(スケートアーバニズム)と、障害の有無に関わらずあらゆる人同士を「FUN」(楽しい)で結ぶ「FUNclution」(ファンクルージョン)が出会って生まれた「RENOSY PARK」は、異なる価値観を持つ人たちが、同じ場所で一緒に楽しむための場です。視覚障害のある当事者も企画に参加し、多様な登壇者によるトークセッションやインクルーシブな体験ブースを展開します。また、スケートボードやBMXのプロライダーによるデモンストレーションや、初めての方でも参加できるワークショップを実施し、来場者の新たな挑戦を生み出すきっかけをつくります。また、本フェスティバルのヘッドラインスポンサーである株式会社GA technologiesによる、スポーツとビジネスの視点から「挑戦を続けるための基盤づくり」をテーマとするトークセッションも実施します。

【日 時】2026年11月1日(日)11時～16時

【開催場所】JR川崎駅東口タクシーロータリー（空島側）

●トークセッション

「次世代を育てる力と未来への投資 — スポーツとビジネスの『人材育成・教育論』」

川崎フロンターレでFROを務める稲本潤一(いなもと じゅんいち)氏と、川崎フロンターレU-15・U-18出身で株式会社GA technologies取締役専務執行役員の樋口大(ひぐち だい)氏が、「挑戦を続けるための基盤づくり」をテーマに語り合うトークセッション。スポーツとビジネスそれぞれの視点から、失敗を恐れない挑戦心を育てる指導・育成のあり方や、将来を見据えた自己投資の考え方を掘り下げます。



いなもとじゅんいち
稲本潤一

ひぐちだい
樋口大

【登壇者】稲本潤一(いなもと じゅんいち) (川崎フロンターレ FRO)、 樋口大(ひぐち だい) (株式会社GA technologies 取締役専務執行役員・川崎フロンターレU-15・U-18出身)

【日 時】2026年11月1日(日)11時～11時30分

●トークセッション「まちに遊びを取り戻す — SKATE URBANISM × FUNclusion」

スケートボードを通じて都市に遊びを取り戻し、その受容を考える「SKATE URBANISM」と、異なる人同士を「FUN」で結ぶ「FUNclusion」。2つの取り組みが出会って生まれた「RENOSY PARK」の背景や、それぞれが考える「まちと遊び」の可能性について語ります。

【登壇者】北島宗和(きたじま むねかず) (株式会社Chees代表／NPO法人日本スケートパーク協会 副理事長)、石井健介(いしい けんすけ) (ブラインドコミュニケーター)



きたじまむねかず
北島宗和

いしいけんすけ
石井健介

【日 時】2026年11月1日(日)11時30分～11時50分

●トークセッション「川崎をスポットシーク！まちの見方、いろいろ」

スケーターは街を見る時、スケートボードで楽しめそうな場所を探す「スポットシーク」をしています。では、目の見えない人は街のどこに注目しているのか。多様な登壇者が、それぞれの「川崎の見方」を持ち寄ります。

【登壇者】石井健介(いしい けんすけ) (ブラインドコミュニケーター)、高橋鴻介(たかはし こうすけ) (発明家／プロダクトデザイナー)、元木智恵(もとき ちえ) (Feel Irie シェイパー)



いしいけんすけ
石井健介

たかはしこうすけ
高橋鴻介

もときちえ
元木智恵

【日 時】2026年11月1日(日)13時～13時20分

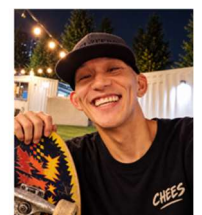
●トークセッション「からだでしゃべろう！」

スケーターが滑りながら交わすハンドサインと、ろう者が使う手話の世界をテーマとするトークセッションです。スケーターが普段使うジェスチャーを手話にするとどんな表現になるのか、言語としての手話の特徴を交えながら紹介し、声に頼らず「からだ」全体でコミュニケーションする楽しさを探ります。

【登壇者】ろうちょ～会、元谷秀雄(もとや ひでお) (スケートボードコミュニケーター)

【日 時】2026年11月1日(日)14時～14時30分

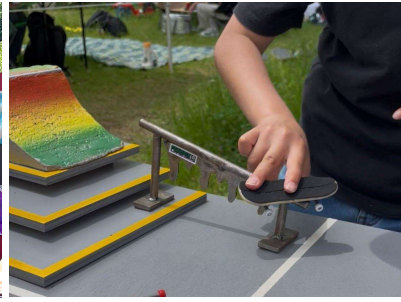
ろうちょ～会



もとやひでお
元谷秀雄

●「FUN」でつながるインクルーシブな体験ブース

目を閉じて手の感触だけを頼りに進む遊具、「TOUCH PARK」が登場します。その他、声を使わずに伝える楽しさを体験できるサインワークショップ「Silent Noisy Communication」や「フィンガー・スケートボード」など、まちや人とのつながりを楽しめる体験ブースを展開します。



「TOUCH PARK」イメージ 「Silent Noisy Communication」 「フィンガー・スケートボード」
イメージ

●デモンストレーション（スケートボード・BMX）

敷地内に設置した特設セクションで、スケートボードとBMXのプロライダーが、成功だけでなく失敗や転倒も隠さずにトリックに挑みます。

【出演】スケートボード：寺内楓（てらうち かえで）、鈴木大夢（すずき だいゆう）／
BMX：古川樹（ふるかわ たつき）、鈴木村楓（すずむら かえで）

【日時】2026年11月1日(日)①11時50分～12時 ②15時10分～15時20分



寺内楓（てらうち かえで）/鈴木大夢（すずき だいゆう）/古川樹（ふるかわ たつき）/鈴木村楓（すずむら かえで）

●初心者向けワークショップ（BMX・スケートボード）

BMXライダーのサポートを受けながら、初めての方でもBMXに乗る楽しさを体験できるワークショップと、スケートボードスクール「Chees」のスタッフがサポートし、基本的な乗り方や身体の動かし方を通じてスケートボードの楽しさを体験できるワークショップを実施します。

【日時】2026年11月1日(日)

・12時10分～12時30分：ワークショップ①BMX

小学生以上の自転車に乗れる方が対象です。（定員5名）

・12時35分～12時55分：ワークショップ②スケートボード

3歳以上～小学生までのお子さまと保護者の方が対象です。（定員10組）

・13時30分～13時50分：ワークショップ③BMX

小学生以上の自転車に乗れる方が対象です。（定員5名）

・14時30分～14時50分：ワークショップ④スケートボード

小学生以上が対象です。一人でスケートボードに乗ってみたいという方向けのワークショップです。（定員10名）

【参加方法】当日、各回の開始10分前までを目安に「RENOSY PARK」受付までお越しください。

※各回、定員に達し次第、締切となります。



KAWASAKI FESTIVAL 2026「スケルトンカラオケ」

川崎駅前の商店街「銀柳街」の真ん中に、「& CHALLENGE STAGE」として四方が透明な特設アクリルブース、スケルトンカラオケが登場し、ライブ配信アプリで活躍するライバー16名が次々と歌声を披露します。パフォーマンスの様子はライブ配信アプリで同時にライブ配信され、会場の観客と画面の向こうの視聴者が一緒に楽しめる、リアルとオンラインをつなぐカラオケステージです。

当日は採点機能を使用した、目標スコア「95点以上」の採点バトルも実施いたします。



【日時】 2026年11月1日(日) 13:00～17:30

【場所】 銀柳街

【出演】 ライバー16名

詳しい情報は以下の公式noteを御参照ください。

<https://note.com/pocorecords/n/n6d657918ecc4>



【KAWASAKI FESTIVAL 2026 全体マップ】





【公式Webサイト】

<https://kawasaki-festival.jp>



【公式Xアカウント】

https://x.com/kawa_saki_fes



【公式Instagramアカウント】

https://www.instagram.com/kawa_saki_fes

【問合せ先】

（本資料全般及び「KAWASAKI FESTIVAL 2026」に関すること）

川崎市総務企画局共創推進室 木村

電話：044-200-1215（内線：23403）

（「みんなの川崎祭」に関すること）

川崎市まちづくり局拠点整備推進室 五十嵐

電話：044-200-2752（内線：36202）